

平成27年度「山口県産業戦略本部」第2回全体会合

日時：平成28年2月17日（水）13：30～

場所：県庁4階 共用第1会議室

1. 説明項目

(1) 「やまぐち産業戦略推進計画」の取組実績等について

- ・主な取組実績（平成27年7月～平成28年1月）資料1

○平成27年7月から平成28年1月までの各プロジェクトの主な取組実績を報告

- ・取組効果について資料1-1

○これまでの取組や指標（目標）達成による効果を、金額や伸び率等により数値化して説明

(2) 「やまぐち産業戦略推進計画」第三次改定案について資料2 資料2-1 等

○三次改定案の考え方、改定のポイントを説明

[関連報告] 平成28年度当初予算案（産業戦略関連事業）資料3

(3) 平成28年度高度産業人材確保事業案について資料4

○平成28年度の奨学金返還補助制度の募集、応募期間や、補助金支給要件など平成27年度との改正点について説明

(4) その他

- ・やまぐち海外展開方針案資料5

- ・平成28年度国の予算編成及び政策決定等に関する要望項目に対する予算措置状況資料6

2. 意見交換における本部委員の主な意見

□取組効果

- ・取組効果を数値化することは良いこと。これを継続することが重要
- ・やまぐちブランドは、まず出荷数量を目標にし、商品数はその達成に必要な目標とすべき。出荷実績をフィードバックするとよりよいブランド化につながる

□コンビナート企業間連携の促進

- ・大規模地震や津波の危機管理体制の情報共有に取り組んでいる。こうしたソフト面の取組も計画の目標である「取組の実現件数」に該当するのか
- ・保安や各社が持つ教育施設のシェアによる人材育成などの連携に取り組んでいる。始まったばかりだが、形にしていきたい
- ・個々の企業を引っ張っていくのは難しいが成果が出せるよう取組を進めている

□産業基盤の整備

- ・港湾、工業用水の強化は、企業にとってメリットが高い。引き続き積極的な整備推進をお願いする

□企業誘致

- ・港湾、工業用水が整備されていることは、企業誘致にとっていい材料でアピールが必要
- ・企業誘致は、ターゲットを絞るなど、戦略をしっかりと立てることが重要
- ・加工、組立型産業の誘致が人口増につながるのではないか

□観光

- ・大河ドラマ、世界遺産などにより、山口県の観光は総じて好調
- ・今、インバウンドは、大河ドラマが放送される「台湾」をターゲットにすべき
- ・訪日客誘致に向けては、有名ブロガーによる情報発信が有効
- ・女性、子供をターゲットに、人を駅に降ろす仕掛けが、二次交通アクセス改善につながる

□農林水産

- ・本県は竹林面積が全国4位。タケノコの6次産業化やバイオマス発電など、年間を通じた竹の有効活用を図るべき

□売り込み

- ・山口らしさを表現できる「長州」のブランド化を図ってはどうか
- ・国内ブランドでは、「明治維新150年」を節目とした、その後につながるレガシーとして、「きらら」のような新ブランド戦略を検討してはどうか

□海外展開

- ・地域別、分野別に展開方針が明確化されており、わかりやすい
- ・農林水産分野について、今後はTPPを睨んだ戦略も考えるべき

□人材

- ・県の活性化には、人材確保が最重要。優秀な中小企業に対するサポートが必要
- ・化学系企業が多い周南地区では、地元の徳山高専に化学系学科が創設されると若者の地元就職につながる
- ・女性の活躍が重要で、継続して働けるようダイバーシティの活動を検討すべき

□奨学金返還補助制度

- ・募集期間が学生の春休みと重複するため、募集期間を1か月前か後にずらせるとよい
- ・成長を目指す中堅・中小企業では、県外・海外勤務も想定され、県内定着以外にも着目した配慮が必要